

日本語教室あすなる会の茶道教室が開かれました

木下弘子（日本語教室部会）

5月25日（月）、27日（水）、28日（木）と日本語教室の学習者を対象に、あすなる会の茶道教室が開かれました。人気のある体験教室で、今年も盛況でした。会場はサンロードビル内の茶室です。

水曜日は、学習者と日本語ボランティア合わせて14人の参加でした。まず、参加者は玄関から奥の茶室に入り、緊張した面もちで正座します。着物を着たボランティアたちが「正客」「半東」「亭主」をつとめます。

次に、練り切りの季節の和菓子が配られ、銘々取り分けます。懐紙の上で和菓子を頂戴したあと、ボランティアによってお点前が披露され、静かな時が流れます。それから順々に、茶器に点てられたお茶を頂きます。頂く前には「お先に」と挨拶し、茶碗は2度回し

てから頂くなど、作法の基本を教わりながら。

最後は、自分でお茶を点てる体験です。抹茶を茶筌でかき回すところだけですが、皆一生懸命に楽しく取り組みました。あまり力をいれすぎて、茶筌が壊れるハプニングも。点てたお茶を隣りの人と交換して、「苦い」と言いながらも飲み干していました。

終了後は立派な床の間の前で記念撮影。和服姿のボランティアたちはひっぱりだこです。床の間の掛け軸や茶花にも話が弾みます。すっかり緊張感もほぐれていました。

お茶を通して日本文化に触れ、日本のおもてなしを体験する楽しいひとときでした。進藤さんはじめ、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。



初めてお茶を点てる体験をしました



今回参加の学習者とボランティアのみなさん

（写真はいずれも月曜日の教室）